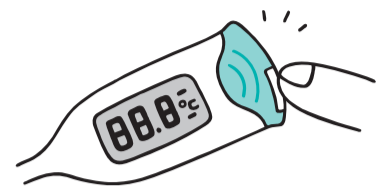


テルモ電子体温計 C250 ワキ下

取扱説明書 / 品質保証書



使い方は、
こんな感じ
だね!



1
電源スイッチを入れる



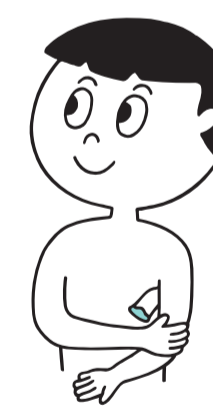
2 ななめ下から
体温計の先端
(測温部)が、
ワキ下中央に
当たるように



3 空いた手でおさえて、
しっかり閉じる

電源スイッチを押さないように注意してく
ださい。誤って電源スイッチに触れると、
電源が切れてしまうことがあります。

はさみ方に
気をつけて!



4 平均90秒後
メロディが鳴り出したら、
取り出す

◆音量、メロディの変更はできません。

ぜひ読んでね
なるほど90秒

詳細は裏面をお読みください。

品質保証書 (大切に保管してください)

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
品質には万全を期しておりますが、通常のご使用において万一故障が
発生しましたときは裏面の保証規定により無償対応いたします。品質
保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

販売名 テルモ電子体温計 C250
お名前
ご住所

TEL

製造販売業者：テルモ株式会社
東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

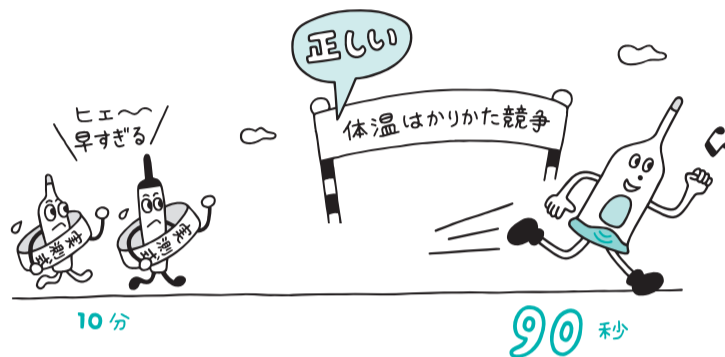
お買い上げ年月日 年 月 日
お買い上げ販売店



なるほど90秒

テルモ電子体温計C250は、
平均90秒で検温できます。

...ということは、水銀計等の実測
式体温計が3~5分なのと比べ
て、わりとはやいですね。



ちょっと待って!

いいえ、本当は実測式で
10分以上かかる正しい検
温値を、わずか90秒で分
析・演算しているのです。



?

今までの数値より、
少し高い気がするけれど...?

実測式で3~5分で測った場合と比べていません
か? 10分より短い時間で測っていたなら、ワキの
下が十分に温まっていないので、低めの値が出てい
たのかもしれない。
実際に正しく測った場合の日本人の平均体温(健康
時)は36.89°C±0.34°C*です。だから37.0°Cで
も、平均的な平熱の範囲内であり、発熱とは限らな
いのです。

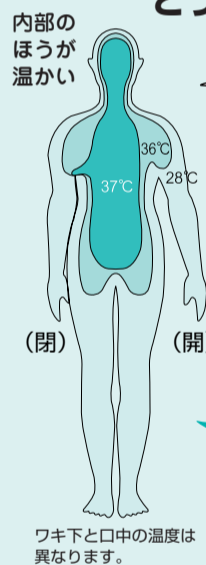


健康時に何度か
測って、自分の
正しい平熱を
確かめておく
ていいよ!

*田坂定孝：日新医学 44：633, 1957

?

本当は実測式だと10分以上もかかるって、
どういうこと?

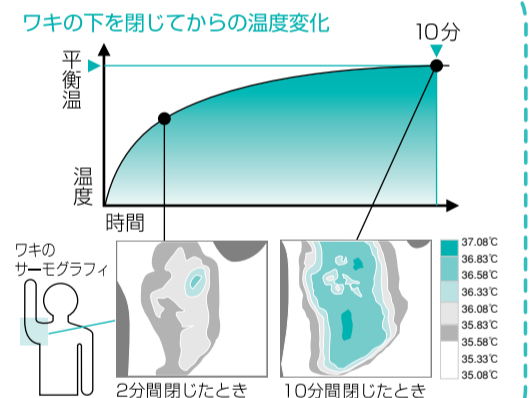


体の温度は、表面と内部で
かなり違うんだ

正確な体温とは、脳や内臓等、変化しな
い体の内部の温度のことをいいます。
ワキの下は、ある程度温まっているよ
うに思えますが、多少外気に触れてい
るので、すぐに正確な体温が測れるわけ
ではないのです。

ワキを10分以上しっかり閉じてい
ないと、体の内部と同じぐらいの
温度にならないんだ

(このようにして完全に温まったときの
温度を「平衡温」といいます)



?

なぜ、テルモの予測式体温計は、
平均90秒で測れるの?

テルモの予測式体温計は、多数の体温測定データ
を内蔵のマイクロコンピュータに記憶しています。
このため、測定開始から数十秒間のワキ下の温ま
り方を細かく分析、演算して、平均90秒で「平
衡温」を予測して表示しています。



テルモの
予測式体温計は
病院でも
広く使われて
いるんだよ!

電池の取り替えかた

こんなときは電池交換が必要です

- 「電池電圧低下」マークのみが点灯
電源を入れた直後に、 表「電池電圧低下」
示を含めた全部の表示が出ます
(2秒間)、これは電池切れの
お知らせではありません。
- 電源スイッチを押しても何も表示されない

リチウム電池(CR2032) 1個を
お買い求めください。



電池寿命について

1日1回の検温で、約1年間ご使用になれます。

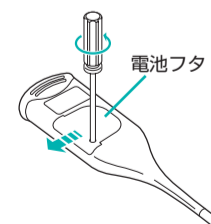
付属の電池(本体に装着済み)はモニター用ですので、寿命が短い
場合があります。

注意

- 電池は子供の手の届かないところに置く。
子供の手の届くところに置くと誤飲の可能性があります。
万一口み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

1

小型のプラスドライ
バーでねじを外し、
電池フタははずす



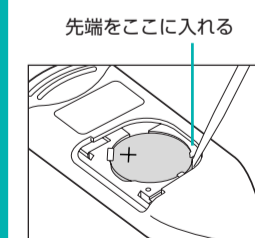
*ねじをなくさないように

注意

- 外したねじ、電池フタは
子供の手の届かない
ところに置く。
子供の手の届くところに
置くと誤飲の可能性が
あります。

2

つまようじ等で使
用済みの電池を取
り出す



*電池の飛び出しに注意する

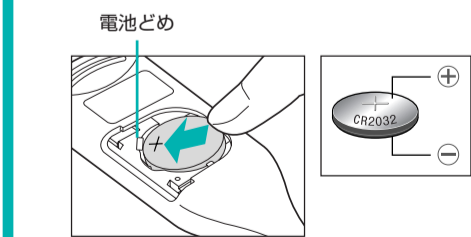
注意

- つまようじ等を使い、金
属製の棒等は使用しな
い。つまようじを使う際
は、先端が折れて本体内
部に入り込まないように
注意する。
故障の原因となります。

3

電池を入れる

(新しい電池を入れたときにメロディが鳴ったり、
誤表示することがありますが、故障ではありません。
そのときは、電源スイッチを押してください。)



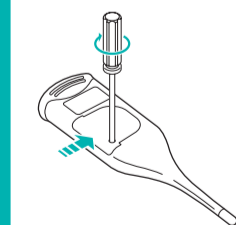
*プラス面を上
*電池どめの反対側から、スライドさせるように

注意

- 電池を上から無理な力で押し込まない。
本体が破損する原因となります。
- 電池の向き(プラス、マイナス)を間違えない。
故障の原因となります。

4

電池フタを本体に
はめ、ねじをしめる






注意
● ねじを強くしめすぎない。
本体やねじが破損する
原因となります。

5

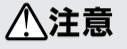
電源スイッチを入れ、
正しく表示が出るこ
とを確認する。

安全上のご注意

本取扱説明書では、表示内容に従わず、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。表示内容に従わず、本来の目的から逸脱した使いかたにより、万一、死亡や重傷を負ったり、物的損害が発生しても、弊社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

 禁忌禁止	絶対に行ってはいけないことを示します。 ・本製品の性能を超える、又は不適切な使い方により、死亡又は重症を負う可能性があります。
 警告	特に注意していただきたいことを示します。 ・適正に使用しても、注意を怠ると死亡又は重症を負う可能性が想定されます。
 注意	使用にあたり、一般的な注意を示します。 ・誤って使うと、傷害を負う可能性、又は物的損害*のみの発生が予想されます。 ※物的損害とは、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

 禁忌禁止	●引火性のある環境では使用しない。 引火又は爆発の誘因となる可能性があります。	 警告	●子供だけで使わせない。 先端部をかみ切って飲み込んだり、けがをする可能性があります。
--	--	---	--

 注意	ご使用前に ●添付文書及び本取扱説明書を確認の上、使用する。 ●使用前に、外観に破損等がないことを確認し、異常が認められた場合は使用しない。 検温値の異常や、けがの可能性がありま	●破損したものは使用しない。 検温値の異常や、けがの可能性がありま
--	---	--------------------------------------

ご使用上の注意	●人の体温測定以外に使用しない。 けがの可能性がありま。また、誤作動や故障の原因となります。 ●測定結果の自己診断、治療は行わない。 自己診断、治療は危険です。容体等、気がかりな点がある場合は、医師にご相談ください。 ●ワキ下以外（口中等）で使用しない。 誤飲やけがの可能性がありま。また、正確な検温ができません。 ●強くかまない・落とさない・強いショックを与えない・曲げない・引っ張らない。 破損や故障の原因となります。 ●強い静電気や磁気波、磁石等に近づけたり、近くで携帯電話を使用しない。 誤作動や故障の原因となります。	●本製品に液体や異物が入らないように注意する。 液体や異物が入ると内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により故障（検温値の異常を含む）の原因となります。 ●活性ガス（消毒用ガスも含む）環境や多湿環境等で使用、放置しない。 本製品は気密構造ではないので、内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により故障の原因となります。 ●分解・修理・改造は行わない。 破損や故障の原因となります。 ●本製品の表示部を強く押えたり、ボールペンやツメ等、硬いもの、先の尖ったものでつついたりしない。 表示部の破損や故障の原因となる可能性があります。
----------------	--	--

電池の取り扱いと交換時の注意	●電池は子供の手の届かないところに置く。 子供の手の届くところに置くと誤飲の可能性がありま。万一口み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。	●指定以外の電池を使用しない。 故障の原因となります。 ●電池を重ねて置かない。 発熱、発火の原因となります。 ●電池を火の中に投げ込まない。
-----------------------	---	---

保守・点検上の注意	●しばらく使用しなかったときは、使用前に必ず作動（電源が入ること、「電池電圧低下」マークが点灯していないことなど）を確認してから使用する。 ●汚れがひどい場合は、布等を水又はぬるま湯に浸し、よくしぼってから拭き取る。 ●水洗いしない。 故障の原因となります。（表示部、スイッチ部分及び電池フタ部分は防水構造ではありません） ●消毒液等に水没させない。 故障の原因となります。消毒する際は、先端部のみを必要な時間だけ浸し、その他の部分は脱脂綿等で拭いてください。消毒に必要な時間については消毒液の添付文書を参照してください。（表示部、スイッチ部分及び電池フタ部分は防水構造ではありません）	●シンナー等の有機溶剤、ポビドンヨードでは拭かない。 有機溶剤や使用可能な消毒液以外を使用した場合、本製品の破損、変色や故障の原因となります。また、ポビドンヨードで拭くと色素が付着することがあります。使用可能な消毒液例は次のとおりです。「グルコン酸クロルヘキシジン／塩化ベンザルコニウム」 なお、希釈率はその製品の添付文書に従ってください。 ●ドライヤー等を使用して乾燥させない。 破損や故障する可能性があります。 ●熱湯消毒しない。 故障の原因となります。 ●クレゾールは使用しない。 故障の原因となります。 ●超音波洗浄しない。 故障の原因となります。
------------------	--	---

保管上の注意	●日光や紫外線等の強い光が当たる場所に保管したり、長時間放置しない。 外装の変色や劣化が発生することがあります。	●収納ケースに収める際、乾いた布等で水気を拭き取る。 水気がついたまま収納ケースに保管すると故障の原因となります。（表示部、スイッチ部分及び電池フタ部分は防水構造ではありません）
---------------	---	--

お願い ●体温計や使用済みの電池を廃棄する際は、各自自治体のルールに従って適切に廃棄してください。

テルモ電子体温計C250 仕様	※商品改善等のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。	
販売名 型式 測定方式 検温部位 検温範囲 検温時間 温度精度 メロディ	テルモ電子体温計C250 C250 予測式(予測検温・実測検温兼用) 温度検出:サーミスタワキ下 32.0~42.0℃ 予測検温時間:約50~120秒(平均90秒/メロディで告知)約4分30秒後実測表示に切替 実測検温時間:約10分(メロディで告知) ±0.1℃(恒温水槽を用いて約1分間測定したときの表示温度の、標準温度計に対する誤差) 「メリーさんの羊」	表示方式 電源電圧 分類 使用条件 保管条件 外形寸法 質量 付属品 液晶表示素子による3桁デジタル表示(最小表示単位:0.1℃) DC3.0V リチウム電池(CR2032)1個(交換可) 内部電源機器:BF形装着部 周囲温度 10~40℃ 相対湿度 30~85%RH(ただし、結露なきこと) 周囲温度 -10~50℃ 相対湿度 30~95%RH(ただし、結露なきこと) 長さ120mm×幅33mm×厚さ14mm 約26g(電池含む) 添付文書、取扱説明書/品質保証書、リチウム電池(CR2032)1個(装着済み)、収納ケース
EMC適合	本製品は、EMC規格 IEC60601-1-2 : 1993 に適合している。CISPR グループ分類 : グループ1 クラス分類 : クラスB 管理医療機器 一般的名称 : 電子体温計 販売名 : テルモ電子体温計 C250 製造販売業者 テルモ株式会社 東京都渋谷区幡ヶ谷 2丁目44番1号 医療機器認証番号 219ABBZX00205 TERUMO、テルモはテルモ(株)の登録商標です。 ©テルモ株式会社 2007年7月 ET_C250_J_500_003	

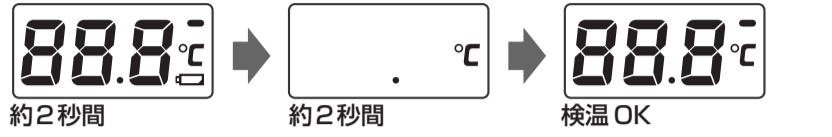
検温のしかた

この体温計は予測検温・実測検温の2通りの方法で測定できます。

予測検温のしかた

1. 電源スイッチを入れる。

表示が次のように切り替わります。



このときの  表示は、電池切れのお知らせではありません。

2. ワキ下の中央に体温計の先端(測温部)をあてる。

(ワキ下中央が最も温度の高いところです)

- ワキ下に汗をかいている場合は、タオル等で汗を拭き取ってください。
汗をかいたまま測ると、ワキ下が冷えているために正確な検温ができません。

3. 体温計をななめ下から30°くらいの角度で、押し上げるようにはさみ、ワキをしっかりしめる。

体温計をはさんだ方の手のひらを上に向け、もう一方の手でひじを脇腹に押さえつけるようにすると、ワキをしっかり閉じることができます。

- 検温中は、体を動かしたり、体温計を動かしたりしないでください。体温計の測温部が正しい位置からずれると、正確な検温ができません。
- 体温計を真横からはさまないでください。先端(測温部)がワキ下中央に正しくあたらなために、正確な検温ができません。
- ワキ下に強く密着させて測定してください。お年寄り、やせている方等で、ワキ下の密着が弱い場合は、正確な検温ができない可能性があります。

※ワキ下が密着できない方は、口中用体温計のご使用をお奨めします。ただし、この体温計はワキ下専用です。

4. メロディが鳴り出したら(平均90秒後)取り出し、数値を読みとる。

予測検温終了です。

※正しい検温方法で検温しなかった場合、正しい予測結果が得られないことがあります。

※メロディは約10秒間鳴ります。鳴り終わるまで待つ必要はありません。

※数値を読みとるまで、電源スイッチを押さないでください。

- 取り出してから表示値が変化したときは、変化後の(固定した)値を読みとってください。(予測演算が終了するまで若干の時間がかかるためです)
- 数値を読みとる際、体温計の先端(測温部)に触れないでください。表示が変化することがあります。
- 表示が点滅するときは、最初から検温をやりなおしてください。

5. 電源スイッチを押して電源を切る。

電源を切り忘れても、約3分後に自動的に電源が切れます。

6. 使用後は収納ケースにしまいましょう。

- 保管する際は、暖房器具のそば、車の中、日光のあたるところ、ほこりの多いところ、湿気が多いところを避けて保管してください。故障の原因となります。

くり返し検温するときは：

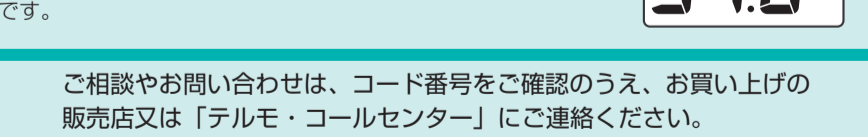
少し時間をおくなど、体温計の先端(測温部)を冷ましてから検温してください。そのまま測ると、検温値が高くなることがあります。

実測検温のしかた

(医師の指示等により特に厳密な体温管理が必要な場合は、実測検温を行ってください)

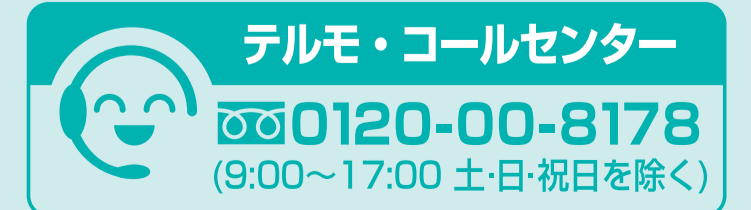
上記の「予測検温のしかた」の4で、
メロディが鳴っても体温計を取り出さずに、ワキ下にはさみ
続けます。

検温開始から約10分後に、再びメロディが鳴り出したら、検温終了です。



ご相談やお問い合わせは、コード番号をご確認のうえ、お買い上げの販売店又は「テルモ・コールセンター」にご連絡ください。

この体温計のコード番号は、ET-C250Pです。









テルモホームページアドレス <http://www.terumo.co.jp/>

故障かな？と思ったら

故障が疑われる場合には、まず下記の項目について確認をお願いします。それでも問題があるときは、「保証規定」をお読みの上、アフターサービスをお申し付けください。

現象	原因	処置
検温するたびに、温度の数値が違う。	体温は、時間帯、気温、睡眠、感情等の要因で常に変動しています。また個人差、年齢等でも違いが見られます。自分の正しい平熱をあらかじめ検温しておいてください。 飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30分ほど待ってから測ってください。	
(右記の場合はまれに低めに表示される)	体温計の測温部が正しい位置にあてられていない。 体が冷え切っていたためにワキ下の温度が低い。 体温計が冷えている。	「検温のしかた」の項に従い、再度検温してください。 手等で体温計全体を温めてから再度検温してください。
(右記の場合はまれに高めに表示される)	すでにワキ下の温度があたたまりすぎている。	ワキをゆめめ少し時間を置いてから「検温のしかた」の項に従い、再度検温してください。
他の体温計と比較して、平熱が高めに表示される	他の体温計が水銀体温計等の実測式であり、検温時間が不十分であった。	そのままご使用ください。 (「本当は実測式だと10分以上もかかるって、どういこうと？」の項をご覧ください。)
いったん高めの表示が出て、下がってからメロディが鳴る。	予測演算の途中のため。(正常な動作です)	表示が固定されてから、数値を読み取ってください。
ワキ下から取り出したとき表示が変わる。	取り出しても予測演算が終了するまで若干の時間がかかるため。(正常な動作です) 測温部に指等が触れて、検温が再スタートした。	表示が固定されてから、数値を読み取ってください。 測温部に指等が触れないようにしてください。

 のみが表示される。	電池が消耗している。	電池を交換してください。
 表示が点滅する。	予測検温終了前に、体温計の位置がずれた。	「検温のしかた」の項に従い、再度検温してください。
 が表示される。(同時にメロディが鳴る)	予測検温終了前に、体温計が外れた。	「検温のしかた」の項に従い、再度検温してください。
 が表示される。	検温値が42℃をこえている。	人の体温測定以外に使用しないでください。
 37.0℃ ← 予測マークが消えている。	検温開始から4分30秒以上経過し、実測値を表示している。	予測検温する場合は、再度検温してください。
初期表示が正常でない。	静電気等による誤作動。	電源スイッチを6秒以上押し続けて電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。
 88.8℃ の表示がずっと続いている。(なかなかメロディが鳴らない)	体温計測温部の温度が低い。外気温が低い。 体温計測温部の温度が高い。外気温が高い。	手等で体温計全体を温めて表示があらわれるのを確認してから、再度検温してください。 少し時間をおくなど、体温計の先端(測温部)を冷ましてから検温してください。
取り出したときに何も表示されていない。	体温計をあてるときに電源スイッチに触れて、電源が切れた。 実測検温時に、体温計の位置がずれた。	電源を入れ直して、再度検温してください。 「検温のしかた」の項に従い、再度検温してください。

メロディが止まらない。	静電気等による誤作動。	電源スイッチを6秒以上の間押し続けて電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。それでもメロディが鳴り続けるときは、電池を取り出し、アフターサービスをお申し付けください。
再検温の際、メロディが鳴らず、前回の表示が残っている。	体温計の測温部の温度が高いため測定が開始されない。	少し時間をおくなど、体温計の先端(測温部)を冷ましてから検温してください。
10分経過時のメロディが鳴らない。	実測検温時に、体温計の位置がずれた。	「検温のしかた」の項に従い、再度検温してください。

保証規定

- (1) 保証期間は、お買い上げ後1年間です。
- (2) ご使用中、故障が発生した場合はお買い上げの販売店またはテルモお客様相談室へ品質保証書を切り取り現品にそえて、お申し出ください。
- (3) 保証期間中に、通常の使用において万一故障が発生したときは無償対応いたします。
- (4) ただし、下記の場合は保証の対象にはなりません。
(イ)ご使用中で取扱いの誤謬(落としたり、強いショックを与えるなど)により発生した故障。
(ロ)正しい状態(使用後は収納ケースに入れるなど)でご使用にならなかった場合。
- (5)本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- (ハ) 消耗部品(電池)。
- (ニ) 製品の改造、不当な修理により発生した故障。
- (ホ) 火災、地震、水害等天災地変等の不可抗力による故障及び損傷。
- (ヘ) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
- (ト) 上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により発生した故障。
- (チ) 品質保証書のご提示がない場合。
- (リ) 品質保証書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合、また、字句を書き換えられた場合。

修理受付先：テルモ・コールセンター 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号 TEL 0120-00-8178